

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 令和4年 1 月 13 日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう網干

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	1		死角になるような場所があるので、できるだけ全体が見えるように動いている。もっと広ければ尚良い。
	②	職員の配置は適切である	6	1		トラブルが起きる程ではないが、曜日やお迎えの時間によってはもう1人いてほしいと思う時はある。マンツーマン対応の子どもがいる日など、職員数を増やしてほしい。公文に時間が取られる場合等も。
	③	衛生面の管理が行き届いている	7			換気や除菌、室温や湿度などその季節に応じて調整している。始業前後やサービス提供内容によって、その都度実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	7			その目標に対して仕事に対しての気持ちが高まると思う。職員会議や朝礼、送迎後等に職員間で情報共有を行い、改善策等を話し合っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	1		分からない。申し送りノートを作成し、非常勤にも回覧されている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	5	2		分からない。職員会議で改善策を話し合い、公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	7			月1回程度開かれる会議や研修で新しい知識を得られたり、再確認できる。月1回のカンファレンス、職員会議等に参加するよう努力している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6			カンファレンスで全職員の分析や発見したことを確認し、よく考えて立てている。保護者、利用者のニーズを聴き、その都度職員間で話し合い、改善したり工夫をしている。他事業所等のアドバイスも活かせる様に取り組んでいる。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6			日が合う時は全職員で、難しい時は正社員で話し合っ決めて決めている。休憩時等にもアイデアを出し合っ、職員会議でもアイデアを出し合っ決めて決めている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6			活動のレベルを少し上げたり、新しいことに取り組むなどして子どもの向上心や興味、関心を大切にしている。同じ計画にならない様に内容を工夫したり、利用者のニーズを取り入れながら楽しめる様に話し合っ計画を立てている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6			平日にできること、休日や長期休暇だからできることを見つけ出し支援している。同児童や同じ曜日に同じ計画や似た計画を立てない様に細やかに話し合っ設定、支援している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6			個別でも集団でもバランス良く力が発揮できたりその子どもが成長できるよう計画を立てている。その日の子どもの様子に応じて、職員が個々に対応している。個別に支援内容、マンツーマン対応等、アイデアを出し合ったり、PDCAを実施し、計画している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			その日の内容や自分の役割がわかり支援がしやすい。朝礼ノートを作成し、非常勤でも確認できる。前日や朝礼時等、詳細を確認したり、困り事ができたらその都度相談し、決めている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			その日の内に記録することで忘れることなく確実に詳しく残せていると思う。コードモン等の連絡事項も印刷され、個々にファイルされているので閲覧できる。検証、改善、課題を見出せる様に記録している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6			児発官の先生がモニタリングをしてくださり、計画の見直しや共通理解ができています。定期的なモニタリングや送迎時等を利用し相談したりしながら判断している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	1		分からない。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	6			学校のおたよりなどを提出して下さる方もいるのですごく助かっている。一方で利用表を提出してく下さらない方もいるので困っている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている	5	1		分からない。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	3		分からない。まだ該当者がいない。卒業者が今年までいないが、来年は提供する予定をしている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		分からない。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6			連絡帳でのやり取りや送迎時の連絡で連携できていると思う。連絡ノート(申し送りノート)に記入され、いつでも見れるようになっている。送迎時や電話等を利用して理解を得ている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5		1	管理者の先生が契約時に説明をして下さったり、その都度不明なことがあれば返事をしている。非常勤の為、説明していない。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6			送迎時や電話等で対応できている。送迎時等に子どもの様子を伝え、保護者の思いを聞くよう心掛けている。事業所内でわからない時は、他事業所や学校と相談し、助言を行っている。(担当者会議依頼)
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	2	1	3	このご時世なので保護者同士で集まる機会はない。コロナ禍で行えていない。コロナ感染予防の為、実施できていない。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情とは少し違つか、子どもが怪我をした際に職員全員で確認し、起きないようにどうするかを考え、保護者の方に伝えることができた。非常勤なので対応に難しい時は、職員(管理者)に相談し、対応をしてもらっています。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6			月に1回、夢通信やゆめだより、ブログなどを発行し、予定や様子を伝えている。
	㉗	個人情報に十分注意している	6			大切な子どもやご家族の情報なので慎重に取り扱い、対応している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			言葉で伝えて理解してもらえるか、文面に表して伝えるかなどその子どもや保護者の方の状況を考えて配慮している。児童に合わせて色々な方法で実施している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		3	3	このご時世なので地域交流は難しいと思う。コロナ禍で行えていない。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	1	
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7			避難訓練はしているが、定期的かはわからない。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		分からない。職員研修に参加し、知識向上に努めている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	1		分からない。身体拘束はない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6			誤飲が無いよう確認してから投与している。酔い止め薬は保護者の方がいる前で投与している。単独で行わず、複数の職員でチェックしている。健康に関する事なので細心の注意を払って声掛けを職員間で取りながら行っている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6			起きないことが1番だが、起きてしまっても迅速に対応している。